

E v o l v i n g B o d y A p p l i c a t i o n

peek a body

S e t t i n g M a n u a l

進化型ボディーマニアアプリケーション

ピーク・ア・ボディ マニュアル

目次

● 目次	1
● 本機・付属品を確認しましょう	2
● 安全上のご注意	3
● PC本体とモニターを接続します	6
● Kinectセンサーの準備をします	8
● peec a body を起動	10
● 設定用カメラ画像を起動します	11
● 撮影の準備をします	12

本機・付属品を確認しましょう

以下の付属品が揃ってますか？



名称	数	名称	数
PC本体:「peek a body カスタマイズインストール済」 	1台	PC用電源コード 	1本
タッチパネル・モニター 	1台	モニター接続用ケーブル類 	各1本
Kinectセンサー 	1台	kinect USB電源ケーブル 	1セット
三脚 	1台	測定用プラットフォーム (被験者に立ってもらう専用測定板) 	1枚
			

※上記画像はすべてイメージ画像です。実際の機器・付属品とは異なります。



安全上のご注意 ～必ずお読みください～

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守り下さい。

記載内容を守っていただけない場合、どの程度影響があるかを表しています。

 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害が発生されること”を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次の図記号で表しています。

 禁止	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。
 指示	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害が発生されること”を示します。

本体使用上の警告



プラグを抜け

煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、やけど、感電の恐れがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、USB ケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電の恐れがあります。



指示

ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。窒息事故などを起こす恐れがあります。



禁止

不安定な場所に置かないでください。転倒、落下等によりけがをする恐れがあります。



禁止

本機を改造、分解しないでください。感電、発煙、発火の原因になります。



禁止

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。発熱、発火、破裂の原因になります。

安全上のご注意 2 ～必ずお読みください～

本体使用上の警告(つづき)



警告



禁止

本製品の内部に次のような異物を入れないでください。

・金属物 ・水などの液体 ・燃えやすい物質 ・薬品
回路がショートして火災の原因になります。



禁止

装置の通風孔をふさがないでください。

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因となることがあります。

電源、電源コード使用上の警告



警告



指示

電源はAC100V (50/60Hz) を使用してください。

異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。



指示

電源コードを取り扱う際は、次の点をお守りください。

- ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
 - ・つけ根の部分を無理に曲げない
 - ・重いものを載せない
 - ・布などでくるまない
 - ・屋外で使用しない
 - ・水などの液体がかかる場所で使用しない
- 発煙、発火、火災、感電の原因になります。



禁止

破損した電源コードは使用しないでください。

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。
修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態では本機を使用しないでください。
火災の原因になります。



指示

電源コードは装置添付のものを使用し、そのプラグを壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因となることがありますので十分ご注意ください。



禁止

タコ足配線にしないでください。

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因になります。



指示

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

安全上のご注意 3 ～必ずお読みください～

本体使用上の注意



注意



禁止

本製品を次のような場所で使用・保管しないでください。

- ・風呂場など湿気の多い場所
- ・料理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一製品に液体がかかった場合は、電源をオフにしてサポートにお問い合わせください。乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。



指示

CD/DVD ドライブのトレイが出た状態で使用する場合は、十分に注意してください。

トレイに強くぶつかったり、手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。



禁止

CD/DVD ドライブは絶対に分解しないでください。

故障、発熱、破損、感電の原因になります。



禁止

CD/DVD ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。

目の痛みなど、視力障害を起こす可能性があります。



禁止

液晶ディスプレイ表面に傷をつけないでください。

液晶ディスプレイの表面や外枠部分を強く押さないでください。

液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師に相談してください。

電源、電源コード使用上の注意



注意



禁止

ぬれた手で触らないでください。

電源コードが接続されているときにぬれた手で触ると、感電の原因になります。



指示

お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

健康上の注意



注意



禁止

ディスプレイを長時間継続して見ないでください。

キーボードやマウスを長時間継続して使用しないでください。

目の疲れ、視力低下、腕や手首が痛くなることがあります。身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師に相談してください。



指示

ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

PC 本体とモニターを接続します

PC本体とモニターの接続

※以下画像はイメージです
実際の機器およびインターフェイスが異なる場合があります。

- 1 「PC本体」と「モニター」と「接続ケーブル類」を用意して下さい。



- 2 コード類の確認をします。



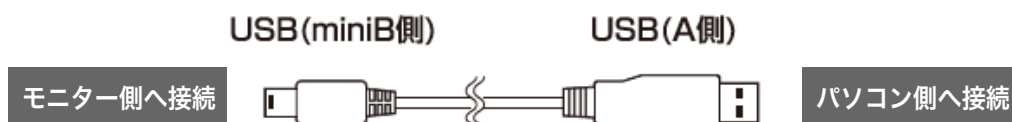
設置・接続します

- 1 測定を行う場所近くの、安定した場所にモニターとPCを設置します。



付属のキーボードとマウスも
本体裏の「USB端子」に接続します。

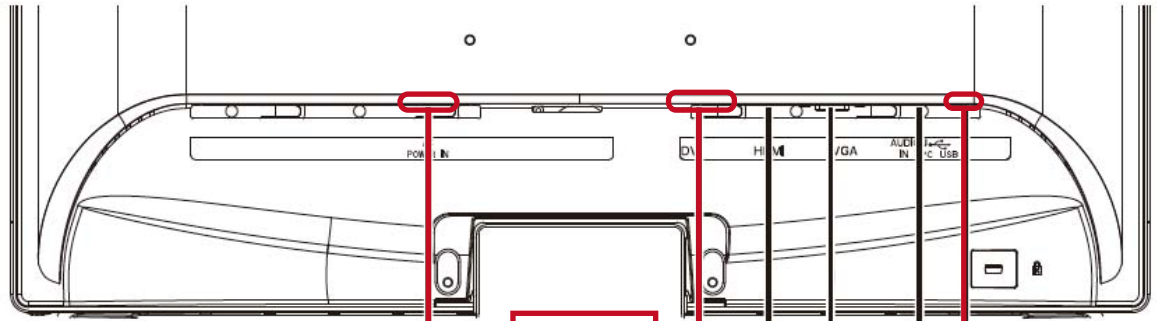
- 2 付属のUSBケーブルでPC本体とモニターを正しく接続してください。



PC 本体とモニターを接続します 2

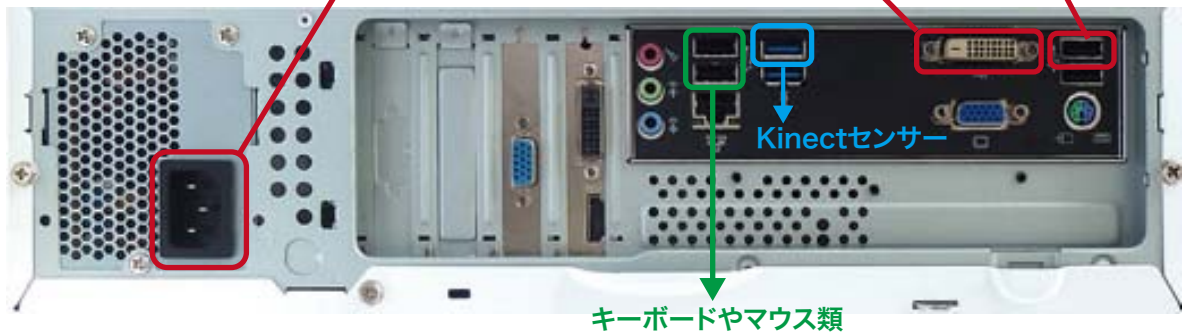
3 PCとモニターを接続します。

※以下画像はイメージです。実際の機器およびインターフェイスポートの位置や数が異なる場合があります。



- ①電源ケーブル
- ②DVI-D端子(デジタル映像信号ケーブル:白)
- ③使用しません(HDMI端子)
- ④使用しません(D-Sub15端子)
- ⑤使用しません(音声入力端子)
- ⑥USB端子

それぞれ
コンセント
[AC100V]
に接続して
ください。



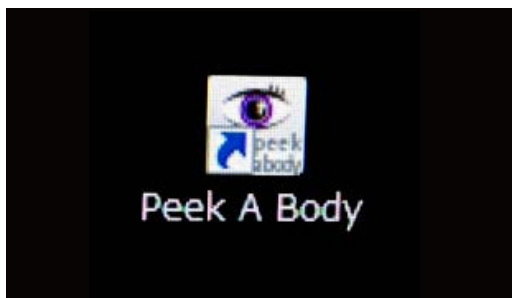
3 PCとモニターの電源コードをコンセントに差し込んで下さい。

※電源プラグは交流100Vコンセントに根元までしっかり確実に差し込んで下さい。

4 PCとモニターの電源を入れます。

それぞれのパワーボタン  を押して電源を入れます。

5 パソコンが立ち上がり、正しくデスクトップ画面が表示されるかご確認ください。



パソコンが立ち上がらない場合、パワーボタンを押しても反応がない場合は、電源コードやACアダプタの接続・接触を再度お確かめ下さい。

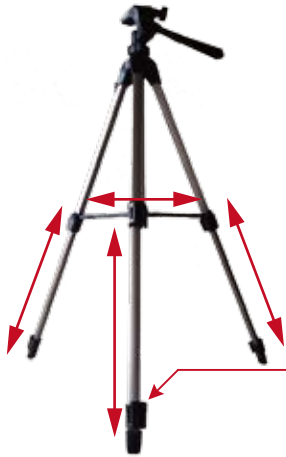
Kinect センサーの準備をします

Kinectセンサーのセッティングをします

- 1 「センサー本体」と「三脚」と「USB電源ケーブル」を用意して下さい。



- 2 三脚の脚を拡げて固定し、安定した場所に設置します。



3本の脚が同じ長さになるようにストッパーで固定し、それぞれの脚を必ずいっぱいまで拡げ固定します。

※脚は2段階に伸びますが、当セッティングではそれぞれ1段階のみいっぱい伸ばして固定します。

それぞれの脚は1段階伸ばす

- 3 センサー本体底面に三脚への接続アダプタ(プラスチック製の接続部品)がセットされているかご確認ください。



※画像はイメージです

- 4 三脚の上部にセンサー本体を取り付けます。

本体の底部にある接続アダプターを、三脚上部のアタッチメントに載せてストッパーで固定します。このときセンサーが床に対して水平になるように取り付けて下さい。



ストッパー

上部アタッチメント部分



※画像はイメージです

Kinect センサーの準備をします 2

5 三脚の首の高さを調節します。

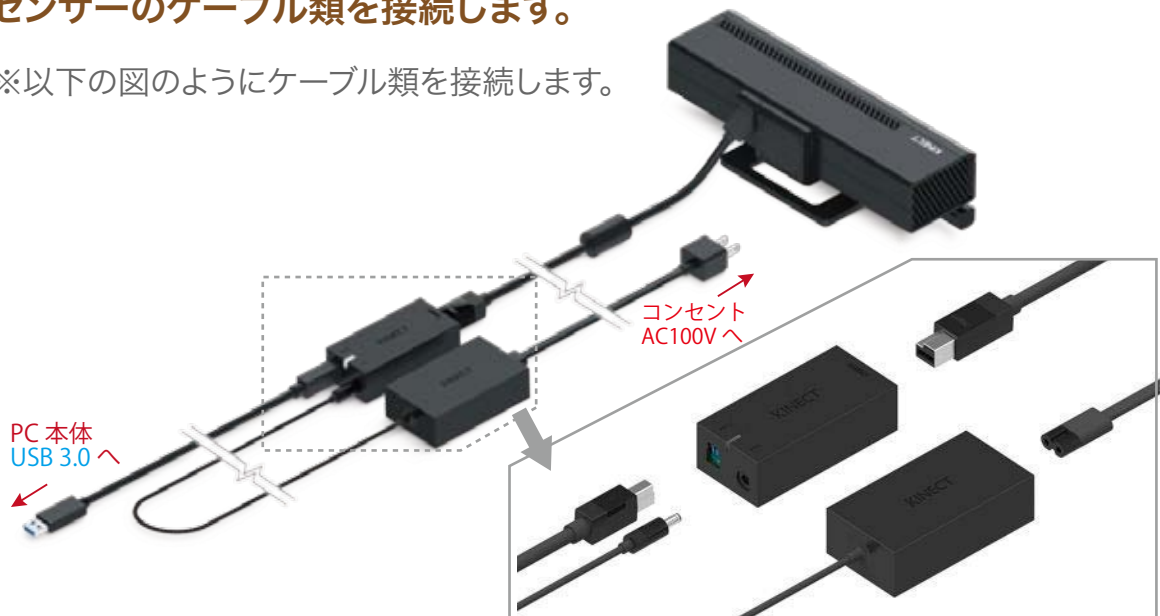
三脚にセンサー本体を
水平になるように取り付け、
床から**カメラレンズ中央**までの
高さを**90cm**になるよう
三脚の首を伸ばし
調節します。

1、水平に取付→
2、ハンドルを回して首を伸ばす→
3、回して固定→



6 センサーのケーブル類を接続します。

※以下の図のようにケーブル類を接続します。



7 PC本体の「USBポート(差込口)」にセンサーからのUSBケーブルの端子を差し込み、接続します。

※接続は端子をきちんと差込口の奥まで差し込み、センサーからのケーブルとアダプタのケーブルの接続もしっかり接続されているかご確認下さい。



※ USBポートは2種類あります。**必ず青い「USB 3.0ポート」**に接続してください。



peek a body を起動

peek a bodyを起動します

- 1 デスクトップ上の「peek a body」アイコンをダブルクリック(タッチ)します。



※タッチパネルモニターが動作しているか確認して下さい。

ダブルクリック or ダブルタッチ

- 2 起動します。



- 3 「peek a body」が起動しました。



設定用カメラ画面を起動します

セッティングからのカメラ画面の立ち上げ

- 1 画面右上の「セッティング」タブをクリックし、セッティング画面の「Setting for photo shoot」ボタンをクリックします。

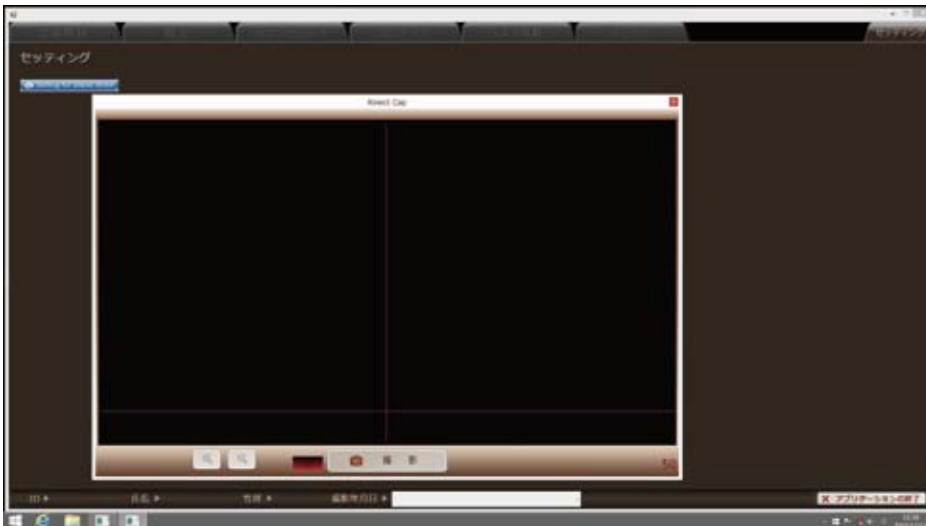


クリック

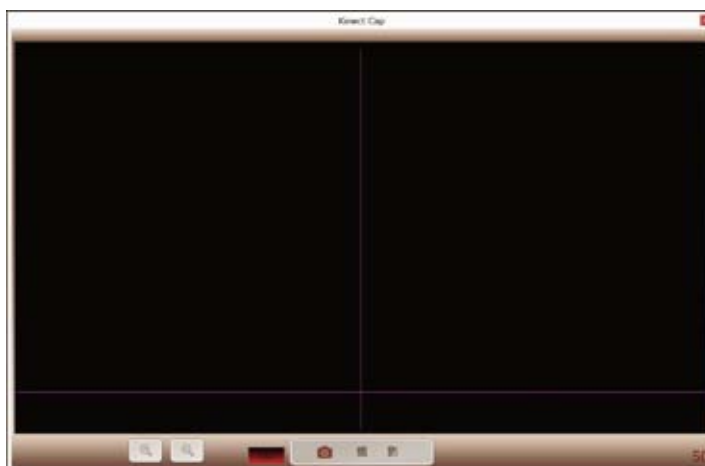


クリック

- 2 カメラ画面が立ち上がります。



- 3 「セッティング」は設置設定用のカメラ画面です、撮影は出来ません。カメラ画面を閉じるときは、右上の[x]をクリックして閉じてください。



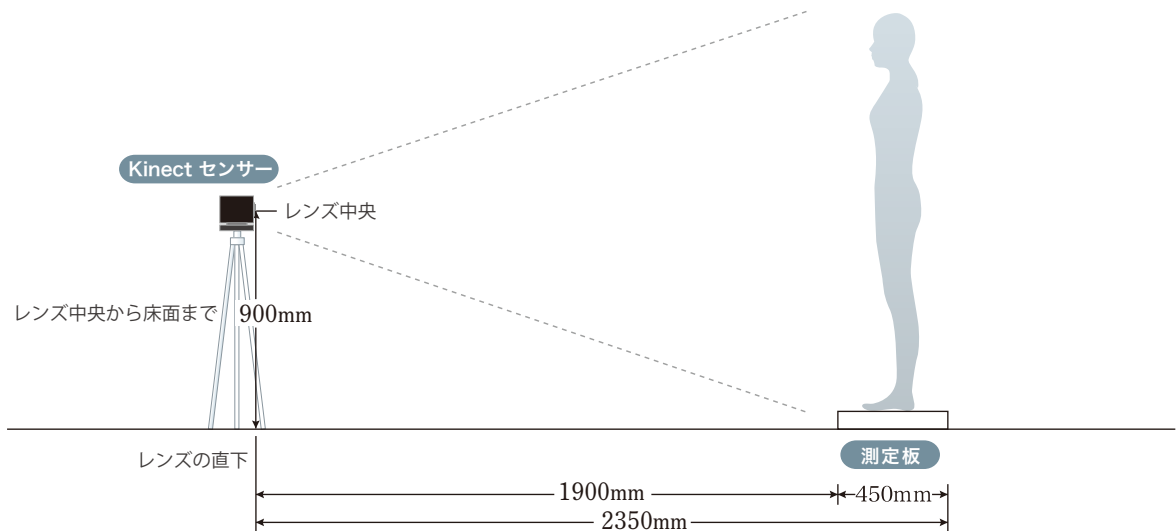
クリックして閉じる

撮影の準備をします

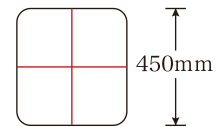
Kinectセンサーと測定板のセッティング



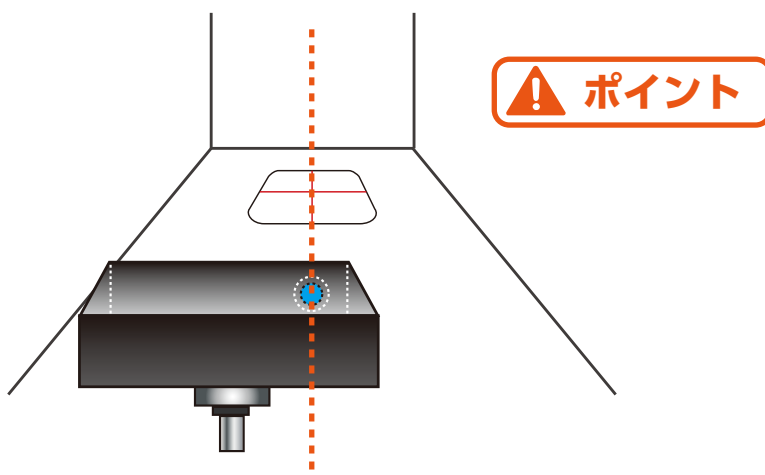
- 1 測定板を設置し、カメラとの距離をとる。
＜設置に必要なスペースと距離＞



カメラのレンズの直下から測定板の前端まで、
1.9mの距離をとってください。



- 2 Kinect本体のカメラのレンズ焦点(レンズ中央部)の延長線上に、測定板の赤い縦ラインがくるように設置してください。

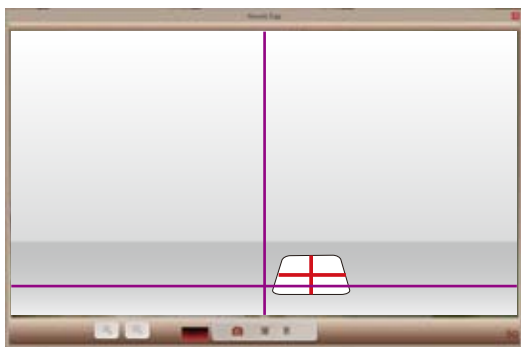


撮影の準備をします 2



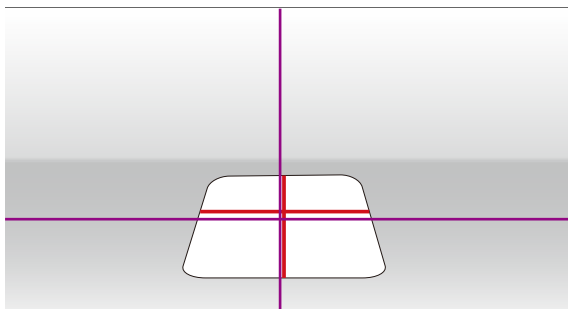
モニターのカメラ映像を見ながら、位置を調整します

- 1 表示されているカメラ撮影画面内の紫の十字線  と、測定板の赤い十字線  を合わせる調整をします。



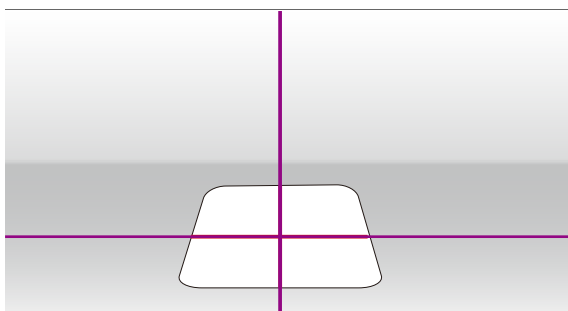
※カメラ(三脚)は水平と垂直を保つように、測定板も水平に設置してください。

- 2 三脚の首部調節を使用し2つの赤い十字線を合わせていきます。



写っている「カメラ映像」画面を見ながら三脚の置き位置、三脚首部の調整ハンドル、もしくは測定板を移動して、赤い十字同士をぴったり合わせます。

- 2 2つの十字線がぴったり合えば撮影セッティングの完了です。



微調整はカメラの三脚の脚を少しずらすなど調整を行ってください。

- 3 「セッティング」のカメラ画面を閉じます。



右上の[X]をクリックして閉じてください。

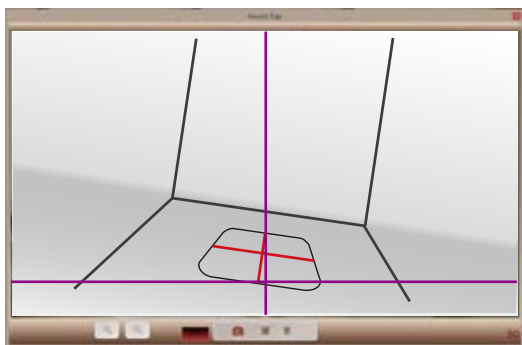
※「セッティング」の[撮影]ボタンは撮影シャッターボタンではありません。

撮影の準備をします 3

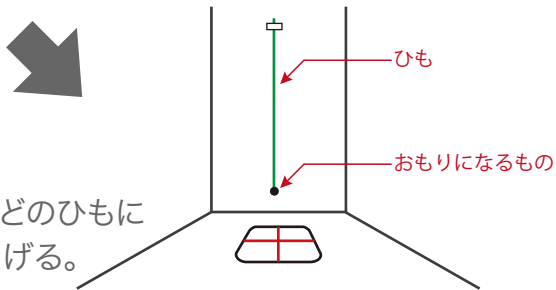
重要

2つの十字の垂直が合わない場合

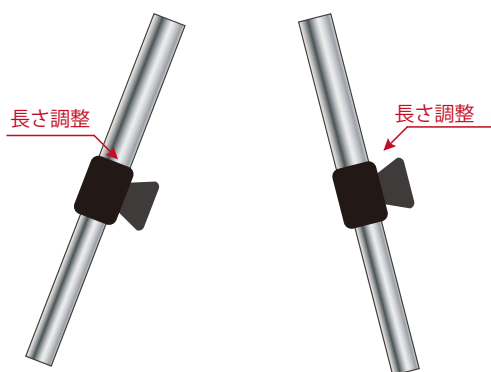
- ❗ 2つの十字線の垂直が合わない場合は、5ページの「2」を再確認します。
- ❗ ぴったりと合わせるコツは、カメラのレンズと測定板の縦ラインを一直線上に合わせ、上下の首振りか三脚の前後で横ラインを合わせ、微調整は三脚の脚の1本を少しずつずらすことにより比較的合わせやすくなります。
- ❗ カメラは赤い十字線に合うよう垂直水平を調整済みで出荷しておりますが、設置場所や三脚の脚の長さの違いで、垂直ラインがずれてしまった場合は以下の場合は手順に従って調整して下さい。



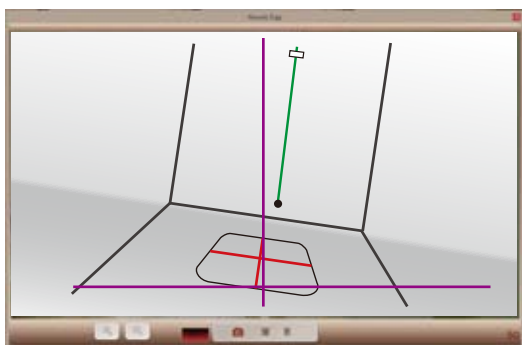
カメラの画像が傾いている。



背景の壁面に図のように背丈ほどのひもにおもりになるものをぶらさげる。



三脚の脚の長さを微調整して、壁面のひもとカメラ画像の紫の縦線を縦に並行になるように調整します。



調整

